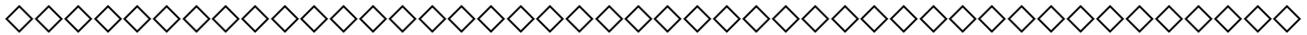


- 1) 第 52 回日本頭痛学会総会 会長 永田 栄一郎 先生よりご寄稿
- 2) 第52 回日本頭痛学会総会開催のお知らせ
- 3) Headache Master School Japan(HMSJ)2024 Autumnal Semester Kita Tohoku
開催のお知らせ
- 4) 「頭痛専門医への道」産婦人科編 のホームページ掲載について
- 5) 頭痛研究トピックス～広報委員より最新の論文をご紹介します



1) 第 52 回日本頭痛学会総会会長 永田 栄一郎 先生よりご寄稿

「第 52 回日本頭痛学会総会 開催にあたって」



第 52 回日本頭痛学会総会

会長 永田 栄一郎

東海大学医学部内科学系脳神経内科学 領域主任教授

診療科長, 認知症疾患医療センター長

第 52 回日本頭痛学会総会を, 2024 年 12 月 6 日(金)・7 日(土)に新横浜プリンスホテルで開催させていただきます。昨年のパシフィコ横浜に続き, 横浜での開催となりますが, 全国の先生方からのアクセスが良い新横浜という場所を選ばせていただきました。東海大学の主催としましては, 前回 2007 年に北川 泰久先生が東京の日本都市センターで開催されてから実に 17 年の月日が経っております。近年漸く COVID-19 感染症も落ち着いて, 数々の学会もリモート参加より, 対面での従来のような学会が開催されるようになってきました。やはり, 対面での発表や論議やお互いの親交を深めるには対面で行わなければいけないということが, この 4 年間痛感してきたことでございます。

本大会のメインテーマは, 「頭痛学を極める」とさせて頂きました。

2021 年に我が国で CGRP 関連抗体製剤が使用可能となりました。この CGRP 関連抗体製剤は, 片頭痛診療におけるまさに一代革命, エポックメイキングと言っても過言でないほど頭痛診療に大きなインパクトを与え

ました。それから本年は3年が経ち、広く我が国でも片頭痛診療に使用されるようになってきました。しかし、この CGRP 関連抗体製剤のみで片頭痛診療を解決できるわけではなく、使用後3年が経ち、新たな様々な問題点が明らかになってきたと思われまます。更に近い将来に CGRP 受容体拮抗薬であるゲパントも我が国で上市される予定であり、益々、片頭痛領域の治療の拡大が期待されます。この機に、今一度「頭痛学」というものを再考し、未来に向けての頭痛診療の在り方などを考える機会になればと思います。今回の企画として、日本頭痛学会の国際化(Globalization)の一環として、日韓合同シンポジウムおよびアジア・オセアニア地域の頭痛学会である ARCH(Asia Regional Congress of Headache)との合同シンポジウムも企画しております。また、海外演者として、Alan Rapoport 先生, Andrew Charles 先生, Peter McAllister 先生をお招きして、基礎・臨床の最新の知見をご紹介します。シンポジウム、ワークショップに関しては、多様性(ダイバーシティ)、多職種連携をテーマとするものや、基礎から臨床、疫学など幅広いテーマの企画を用意しており、一般演題では250題を超える演題を登録いただいております。また、医師会認定産業医講習会の同時に開催させて頂く予定です。欧米をはじめ諸外国、特にアジアの各国の頭痛学会との連携強化や現在停滞している日本における基礎的頭痛研究の促進や日本から世界へと発信できるような頭痛教育、研究、診療ならびに JPAC の頭痛患者様と共に考え、寄り添っていけるような頭痛診療を目指すような大会にできればと考えております。

そのためにも会員皆様のご協力なくしては叶いませので、是非とも多くの方にご参加、また、発表して頂き、学会の発展とともにご自身のスキルアップに繋がる会となることを希望しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2)第52回日本頭痛学会総会 開催のお知らせ

第52回日本頭痛学会総会は、永田栄一郎先生のご寄稿にもありましたとおり「頭痛学を極める」というテーマのもとに下記の日程で開催されます。すでに演題募集は終了していますが、さまざまな魅力的なプログラムが準備されています。知識のブラッシュアップやスキルアップのために会員の皆様は奮ってご参加ください。

1. 開催日: 2024年12月6日(金)・7日(土)
2. 会場: 新横浜プリンスホテル 〒222-8533 神奈川県横浜市港北区新横浜3-4
3. 会長: 永田 栄一郎 先生 (東海大学医学部内科学系脳神経内科学 領域主任教授, 診療科長, 認知症疾患医療センター長)
4. ホームページ: <http://jhs52.umin.jp/>

2) Headache Master School Japan(HMSJ)2024 Autumnal Semester Kita Tohoku

開催のお知らせ

今期の秋季 HMSJ は秋田で開催されることとなりました。これまでと同様に web 参加も可能なハイブリット形式で行われる予定です。頭痛専門医を目指す先生方には、HMSJ2024 の参加が教育認定病院での研修歴の一部に代替されます(詳細はホームページをご参照ください)。また、頭痛専門医の先生方には、専門医更新のための研修認定単位 10 単位が付与されます。いずれの場合も HMSJ2024 のプログラム全日程を出席もしくは視聴するとともに、ポストテストに合格する必要があります。

受講をご希望の方は、下記ホームページの受講申し込み専用フォームよりお申込ください。

1. 開催日: 2024 年 11 月 17 日(日) 9:00~16:30(予定)
2. 会場: 秋田県総合保健センター 〒010-0874 秋田県秋田市千秋久保田6-6
3. 募集期間: 2024 年 10 月 18 日(金)まで (締め切り厳守)
4. 受講費: 20,000 円(事前振り込み)
5. 実行委員: 工藤 雅子 先生(岩手医科大学医学部内科学講座 脳神経内科・老年科分野), 菊地 顕次 先生(佐藤病院 脳神経外科), 石川 理恵 先生(八戸平和病院 麻酔科・ペインクリニック)
6. ホームページ: <http://hmsj2024-2.umin.jp/index.html>

4)「頭痛専門医への道」産婦人科編のホームページ掲載について

このたび、日本頭痛学会のホームページ内に、これから頭痛専門医をめざす先生方に向けて「頭痛専門医への道」のサイトが新設されました。このサイトは、専門医を取得するためのノウハウを具体的にわかりやすく示し、より多くの先生方に頭痛専門医について興味をもていただくことを目的としています。まずは「産婦人科医編」として、3 人のエキスパートの先生方のご経験談と、現在専門医受験を目指し奮闘していらっしゃる先生の抱負などが公開されています。今後は他科にも内容を拡充していく予定です。ご興味のある先生方はぜひご覧ください。

- 頭痛専門医への道: <https://www.jhsnet.net/road/>

5)頭痛研究トピックス～広報委員より最新の論文をご紹介

- 反復性片頭痛患者に対するエレヌマブ早期投与と非特異的経口片頭痛予防薬の比較

Pozo-Rosich P, et al. Early Use of Erenumab vs Nonspecific Oral Migraine Preventives: The APPRAISE Randomized Clinical Trial. JAMA Neurol 2024 Mar 25: e240368.

掲載日:2024/5/7 https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_152.pdf

- 硬膜リンパ管での CGRP 受容体シグナル伝達による脳脊髄液流出調節と神経炎症誘発

Nelson-Maney NP, et al. Meningeal lymphatic CGRP signaling governs pain via cerebrospinal fluid efflux and neuroinflammation in migraine models. J Clin Invest. 2024 May 14: e175616. doi: 10.1172/JCI175616.

掲載日:2024/6/20 https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_153.pdf

- 片頭痛マウスモデルにおける三叉神経節への脳脊髄液直接流入によるニューロンの活性化

Rasmussen MK, et al. Trigeminal ganglion neurons are directly activated by influx of CSF solutes in a migraine model. Science 2024; 385: 80–86.

掲載日:2024/7/23 https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_154.pdf

- PACAP 抗体による片頭痛予防療法の有効性と安全性

Ashina M, et al. A Monoclonal Antibody to PACAP for Migraine Prevention. N Engl J Med 2024; 391: 800–809.

掲載日:2024/9/13 https://www.jhsnet.net/pdf/zutu_topics_155.pdf

【日本頭痛学会 広報委員会】

ニュースレターに関するご意見, 問い合わせは <jhs-office@shunkosha.com> までお願いいたします.